

瀬戸正人『Cesium 137Cs』電子書籍版 世界発売開始

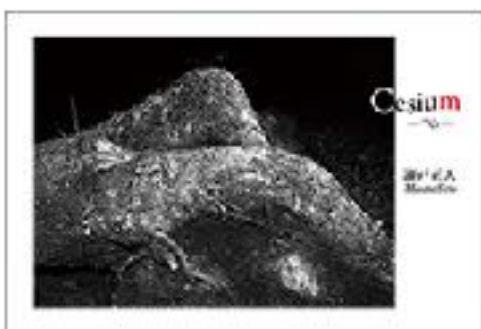
プレクス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：大島利浩）と株式会社ユーフォニック（本社：東京都新宿区、代表取締役：岩島民和）は、この度、写真家瀬戸正人の『Cesium 137Cs』を電子書籍版として2017年08月31日、リリースいたします。『Cesium 137Cs』は、写真家瀬戸正人氏の写真集、初の電子書籍化です。

■瀬戸正人『Cesium 137Cs』電子書籍版

“見てはならぬものを見てしまった気がする” - 瀬戸正人（『Cesium 137Cs』あとがきより）

福島出身の写真家瀬戸正人が、2011年3月11日の東日本大震災、東電福島第一原発事故から1年後の福島をとらえた『Cesium 137Cs』を自身初の電子書籍化。

フランスの通信社の依頼で足を踏み入れた、東電福島第一原発事故の敷地内。そこで見た福島の海や、目に見えぬ恐怖。自然の中に潜む、人体の気配。目に見えない放射性物質や恐怖なるものを可視化しようと、山林や河川、田畑へ分け入り、福島の現在を収めた。3.11以前と以後での東京と福島の行き来を綴ったエッセイを収録。



“いま、灰暗い淵を見つめている一人の写真家、生と死のあわいの…”

- 森山大道（『Cesium 137Cs』発売に際して）

瀬戸正人/ 1953年タイ生まれ。東京写真専門学校(現・東京ビジュアルアーツ)卒業後、深瀬昌久のアシスタントを経て、81年フリーランスの写真家として独立。87年、新宿に山内道夫とギャラリーPLACE M開設。「Silent Mode」(95)、「部屋 Living Room, Tokyo」(96)で、第21回木村伊兵衛賞受賞。自伝エッセイ「トオイと正人」(99)で新潮学芸賞受賞。その他の作品集に「バンコク、ハノイ 1982-1987」(90)、台湾の街道筋に立ち並ぶ電飾を施したガラスの箱の中で、ピンロウという嗜好品を売る女たちを捉えた「binran」(08)で日本写真協会の年度賞を受賞。作家活動にとどまらず、木村伊兵衛写真賞の審査員を務めるなど、写真員で幅広い活動を続けている。現在「バルセア 消えゆく大地」と題した新シリーズを意欲的に発表。

■ 瀬戸正人 電子書籍

瀬戸正人「Cesium 137Cs」電子書籍版は、全世界でダウンロード販売を行います。日本国内では、Apple iBookstore、Amazon Kindle ストア、楽天 kobo をはじめとした電子書籍ストアで販売を行います。

『Cesium 137Cs』 (全136ページ / 103点収録)

4,000円

< 国内配信先 >

iBookstore、Kindleストア、楽天kobo、イーブックジャパン、ひかりTV 書店、ヤマダイーブック、セブンネットショッピング、東芝ブックプレイス、漫画全巻ドットコム、ニコニコ静画、BOOKWALKER、BookLive!、BookLive for Toshiba、Yahoo! ブックストア、Dブック、ブックパス、Sony Reader Store、NEOWING、紀伊国屋書店、GALAPAGOS Store、デジタル e-hon
*iBookstore、Kindleストアを除くその他国内マーケットは、順次配信開始です。

< 海外配信先 > iBookstore, Kindle store

<本件に関するお問い合わせ> プレクス株式会社 広報 info@plexus.tokyo 担当：岩島里枝